

[通常機体]FGHIJ/シ G 「機動戦士ガンダム00」

GN アームズ TYPE-D

```
,機体名,GN アームズ TYPE-D,画像
,型式番号,GNR-001D,{{image gnad.jpg}}{ROWS:8}
,英語名,GN ARMS TYPE-D
,所属,ソレスタルビーイング
,パイロット,
,装甲材質,
,装備,GN ミサイルポッド {{br}} ツインライフル {{br}} 大型 GN キャノン
,作品名,機動戦士ガンダム00
,参考書籍,HG GN アームズ TYPE-E{{br}} +ガンダム・エクシア(トランザムモード)
{{include_html hg-html, "!GN アームズ+デュナメス"}}
```

内容

HG 説明書 (TYPE-E のもの)

ソレスタルビーイングで開発したガンダムの強化支援メカ。

プトレマイオスのコンテナの代わりに装備される。

強襲用コンテナの後部が分離し、GN アームズとなる。

これとガンダムが合体した形態は GN アーマーと呼ばれる。

強襲用コンテナは、GN ミサイルなど各種火器を内蔵しており、そのままプトレマイオスの武装として機能する。

特に GN アームズ上部の大型 GN キャノンは、強襲用コンテナと合体した状態でも使用でき、プトレマイオスの主砲となる。

強襲用コンテナと分離した GN アームズは、単独でも戦闘が可能だが、GN ドライブを持たないため、継続した戦闘を行うためにはガンダムと合体し、GN アーマーとなる必要がある。

GN アーマーになると、翼の一部がクラビカルアンテナとして機能し、GN 粒子の制御能力も高まる。

GN アームズは、合体するガンダムに合わせ各種装備変更を行う。

現在までに GN アームズは二機が製作され、それぞれエクシア用のタイプ E 装備、デュナメス用のタイプ D 装備で運用された。

備考

「デュナメス用のタイプ D 装備で運用」との記述は多々あるが、正式名称として「GN アームズ TYPE-D」と呼称している資料は現時点では見当たらない。(2008.4.20)

オフィシャルファイル Vol.5、HJ2008.6、電撃 HM2008.6 で TYPE-D と呼称。

TYPE-E との相違点

- ・GN アームズ側にはラッセのようなパイロットはおらず、ロックオンがデュナメス側で制御
- ・GN アームズの火器管制をハ口が担当
- ・大型の2連装 GN ビーム砲を右手側に、大型 GN ミサイルポッドを左手側に装備。

スペック

項目	内容
----	----

全高	15.3m
頭頂高	
全長	47.4m
全幅	36.2m
本体重量	
全備重量	
ジェネレーター出力	
スラスタ推力	
センサ有効半径	

スペックは TYPE-E のもの